

HDM推進会（第 17回）／ごみゼロネット推進会（第 39回）議事録

開催日： 2011 年（H23 年）9 月 7 日（水）10:00 ～ 11:50

場 所： コミュニティサロン・はけ

出席者： 大橋、市原、杉本、平林、加藤、加賀谷、川村、桐生（作成）

議 題：

1. HDM推進会例会の開催日の変更（全員）

今後の例会開催日は 第一水曜日／10～12時／場所：コミュニティサロン・はけ

2. 行政との接触コアメンバーの交替（全員）

主：平林、 副：杉本、 副：川村

説明：大橋氏はHDMの実施を選挙公約としておられた佐藤市長の後援会の代表に就かれたので、立場上、行政との接触をする代表者から退かれることとなった。

平林氏には、現在、滞っている行政との接触をできるだけ早く再開していただきたい。

3. HDM実証試験の進め方についての討論

- これまでの行政との討論の殆どを場所選定と建屋の建築確認で費やしている。同じようにならないためには場所が既にある学校にHDM装置を置いて、学校の給食生ごみを処理したい。（大橋）
- 学校は教育委員会、農地委員会、ごみ対策課の3者が絡むため、簡単には許可されない可能性がある。むしろグ린タウンや貫井団地なら土地使用上の問題が少ない。（加藤）
- 移動可能な設備でないと、場所は永遠に見つからない。設置場所としては学芸大学か東京農工大学にお願いし、運営資金は東京都の温暖化ガス削減のための補助金を使って、実証試験に大学を巻き込んでやりたい。（平林）
- 複数の案が出ているが、その地域での使用中のレンタル設備の期限切れに合わせて、順次、やれるものから複数の実証試験をやってはどうか。（杉本）

4. 我々の活動の目標

- 二枚橋跡地のHDM方式生ごみ処理場で小金井市の生ごみを全量処理するのが我々全員の意見である。「その他ごみ」は実態として設備能力に余力が出ている焼却炉で広域処理の制度で処理して貰いたい。（大橋）
- 43%しか負荷がない西多摩衛生組合ですら、「自分たちにごみ減量をいいながら、何故他自治体のごみ処理を引き受けるのか」との周辺住民の声に押されている。焼却能力に余力があるから他自治体に頼めると理屈ではそうでも、そうは行かない政治の問題がある。むしろ当市程度の「その他ごみ」量なら、民間に処理を依頼する方が現実的である。（加藤）
- 「紙資源ごみ」はリサイクルへ、「その他ごみ」は居間で分別されているから RDF（固形化燃料）へ持ち込む処理方を推したい。（平林）

5. 行政とのHDM導入検討会の進め方についての討議

- 我々がHDMを推す場合は「他の諸方式との対比」が必ず求められるのに、行政は公務員宿舎のごみ処理装置はキャノン電子のLAND CARE16を誰にも相談なしで一方向的に決定している。（加藤）
- 行政の中福氏は堆肥化に熱中しており、我々の消滅型などとんでもないという感覚である。柿崎氏も嫌々やっている感じ。むしろ新任部長の方が予断なく我々の意見を聞いてくれそうだ。
- 今までの様に場所の選定まで我々に言わせて、行政側は「その場所は使えない」と反対するような進め方をくり返しては駄目。我々は処理装置を選定し、設置場所は行政の責任で決めさせないと3日間でもできる仕事が3ヶ月経っても前に進まなくなる。（桐生）

6. 提出資料の説明

- (1) 「学校給食残渣を微生物処理する意義」(1頁) 大橋・・・①処理が学校内で完結する、②現在の乾燥方式より電力消費が少ない、③乾燥ごみ等の運送費が不要。
- (2) 「可燃ごみの徹底的削減策の具体的、即実行計画の提案」(1頁) 平林・・・紙ごみの RPF 化、又は製紙工場での再利用で、焼却ごみを確実に半減(47%) させる。
- (3) 「紙ごみの処理方法の改定試案(プラごみの処理問題は残る)」(1頁) 平林・・・1. 実証テスト機の設置場所候補＝東京農工大、学芸大、法政大のキャンパス内＝大学との協議が必要。2. 生ごみは、業務用大学内食堂、学校給食等の残渣活用による必要量の確保(堆肥化事業は古い菌床の活用で低コスト化)。3. 「東京都地球温暖化対策等推進のための補助金」申請と、実際の処理作業(収集、投入作業)と学術記録データを含めた、大学との共同プロジェクトとして協議・推進。4. 紙ごみのRPF化は、最大手のサニックス(株)＝大田市の処理施設を10月上旬に見学を予定したい。
- (4) 「夏休み生ごみ投入リサイクル 2001 前原小学校」(2頁) 杉本・・・反省会や雑談の中で出た問題点11件を説明。投入日ごとのパターンの特徴説明。

以

上

中谷氏の紙ごみ処理に関する説明会：10月1日(土) 13:00～16:00 コミュニティサロン・はけ

次回打合せ：10月5日(水) 10:00～12:00 コミュニティサロン・はけ



